

証券コード：3928



第16期 株主通信

2021.1.1 > 2021.12.31



代表取締役社長
上原 仁

Top Message

トップメッセージ

2021年、ファンタジースポーツとクラブDXを含むスポーツDX事業の展開により当社は、名実ともに「ゲーム」と「スポーツ」のDX企業となりました。2022年は、両事業及び主力のゲームサービス事業の展開により、「ゲーム」、「スポーツ」の領域でコンテンツコミュニティのDXを進行していきます。ゲームサービス事業では、ゲームユーザーの皆様が長くワクワク仲間とともに楽しむ空間を実現し、ファンタジースポーツ事業とクラブDX事業では、ファンの皆様仲間とともに熱狂し、コミュニティを活性化させる空間を実現していきます。その先に、当社Visionである「会いたい時に会いたい人に会える社会の実現」を目指します。

「ゲーム」と「スポーツ」のDX企業としてのマイネット

当社事業による企業価値向上と株主還元策

当社は、ゲームサービス事業、ファンタジースポーツ事業、クラブDX事業の各事業により企業価値向上を目指しつつ、同時に株主の皆様への利益還元を実施していきます。

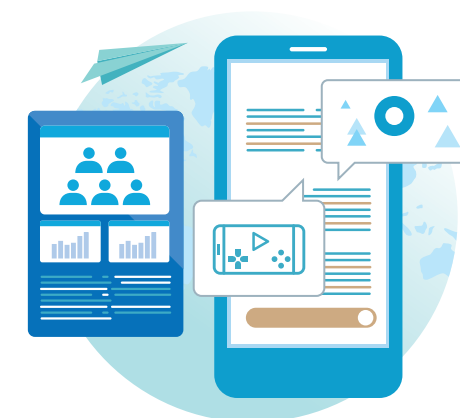
企業価値向上に向け、ゲームサービス事業は、スマート運営やゲーム間相互送客の取組みによるユーザー蓄積で高いユーザー継続率を実現し、高収益・安定成長を実現しており、主力事業として「利益創出」を担います。ファンタジースポーツ事業は、スポーツファンとのデジタル接点・コミュニティを創出し複数のマネタイズサービスを展開し、顧客単価・顧客数がともに上昇する「複利成長構造を持ったビジネスモデル」を確立します。クラブDX事業は、スポーツとしてのポジティブなイメージに加え、社会貢献やSDGsへの取組みを実施し、当社グループ全体の「ブランド力」を向上させます。

また、当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして認識しています。そのため、当社の将来の成長に必要な新規事業開発、研究開発、M&Aなどの先行投資による企業価値の向上を目指しながらも、並行して株主還元として、株主資本配当率(DOE)3%を目安に毎期配当を行うことを基本方針とします。その上で経営環境、連結業績やキャッシュ・フローなどを鑑み、追加の配当や自己株式取得実施の検討をしていきます。

ゲームサービス事業 ～市場の現況と再成長に向けて～

スマホゲーム市場の現況

2021年、スマホゲーム市場は2020年を中心に生じたコロナ禍における特需が一旦落ち着きをみせました。コロナ禍における特需を除けば、スマホゲーム市場は、2021年も2019年までの成長トレンドのまま着実に成長しております。そうした中で、スマホゲームメーカーは相対的に成功確度が高いIPタイトル(人気キャラクター関連タイトル)の開発に注力しており、同時にゲームクオリティのリッチ化が進行しています。その結果、タイトルごとの売上や費用に加えて、運営チームの規模も大きくなるなど、タイトル規模の大型化が進行しています。



ゲームサービス事業の再成長に向けて

ゲームタイトルが大型化したことで、仕入れ先であるゲームメーカーにとって、一つひとつのゲームタイトルの会社業績に与える影響が大きくなり、売却に慎重になる傾向や、継続した売上計上を希望する傾向がみられます。当社はこうした環境変化、顧客ニーズに対応し、プロフィットシェアや受託などの柔軟なスキームを整備するなど獲得戦略を洗練させて、2021年10月に大型タイトル、同年12月に超大型タイトルを獲得しました。移管体制を整備した上で、大型～超大型タイトルを獲得・運営できるプレイヤーは非常に限られ、当社の新たな競争力となり、今後のゲームサービス事業の再成長への礎となっています。

今後の取組みとしては、事業の持続的な成長構造を構築するため、ユーザー継続率を高めて、「ストック型成長モデル」の実現を目指していきます。そのために、これまで取り組んできたロイヤルユーザーデータによるKPIの再設計やマネジメント体制をさらに洗練させるとともに、累計81本のゲーム運営で蓄積したデータ・アセット・ノウハウを活かすスマート運営を徹底していきます。

また、ユーザー継続率を高めるために、株式会社Gaudiyと提携し、同社の持つブロックチェーン、NFTを含む先進的なテクノロジーを活用したゲームコミュニティの提供を開始しています。ゲームコミュニティでは、ユーザー同士のコミュニケーションの促進、ゲームコミュニティ限定イベントの開催、NFT販売等、ユーザー同士が関係性を深め、さらにゲームを楽しむことができるよう取り組んでいきます。

加えて、新規流入ユーザーの継続率を確実なものとするため、ゲームタイトルをマーケティング効果の観点から分類し、効率的・効果的なマーケティング施策を実施していきます。

中期の取組みとしては、ゲームユーザーにとって魅力的でより付加価値の高いサービス・マーケティングの企画立案やチーム内のディレクション・マネジメントに注力し、実作業については外注化を進行する「サービスフォーカス」の方針として掲げ、より効率的でユーザーの皆様が高い価値を届けられるゲーム運営体制を構築していきます。

スポーツDX事業の新たな展開

ファンタジースポーツ事業のローンチ

2021年6月に現実運動型ゲーム「プロ野球#LIVE2021」のβ版をリリースし、ファンタジースポーツ事業を本格的に立ち上げました。ファンタジースポーツとは、各ゲームプレイヤーが空想のチームをドラフトし、空想チームのメンバーの実際の試合におけるパフォーマンスに基づいて競い合うオンラインゲームです。

プロスポーツの新たな楽しみ方として、欧米ではファンタジースポーツの市場規模が急成長しています。

米国市場をもとに推計した国内の市場ポテンシャルは3,000億円と見込んでいます。米国主要企業は急成長しており、国内でも有望な事業機会が想定されます。

リアルのプロスポーツ観戦は、特定のチームを応援し、スタジアムやテレビで張り付いて観戦するものですが、ファンタジースポーツは自分で作ったチームを応援し、スマホを使って隙間時間で楽しむことができます。ファンタジースポーツには、主に友人同士など一定のコミュニティでシーズンを通じて順位を競う「Traditional/Season Long」とゲームプレイヤー同士の対人戦で、日々勝敗が決まり、賞金もある「Daily Fantasy Sports (DFS)」の2つのジャンルがあります。前者は、友人同士等でプロスポーツを通じて交わるコミュニティを形成し、プロスポーツの新たな楽しみ方を提示しています。

後者は、日々の競争と賞金獲得によりさらに夢中になる楽しみ方を提示しています。

2022年にはTraditional/Season Longとして「プロ野球#LIVE2022」を、DFSとして「B.LEAGUE#LIVE2021」をリリースする予定です。「プロ野球#LIVE2022」では前作「プロ野球#LIVE2021」でのKPI検証、分析を踏まえ、更なるユーザー獲得を目指し、「B.LEAGUE#LIVE2021」ではプロバスケットボールへ競技軸での横展開とDFS実装によるマネタイズを目指します。

また、DFSの拡大に向けて、関係省庁を含めた賞金制度等にかかる法的な議論に情報提供を行うなど、適正な市場形成、スポーツ市場全体の活性化に貢献していきます。さらに、ファンタジースポーツはNFTと相性が良く、海外では両者を掛け合わせたサービスが既に大きな熱狂をみせています。当社においても、今後「ファンタジースポーツ×NFTマーケットプレイス」に取り組み、事業成長を加速していきます。

当社はこうした取組みを積み重ね、ファンタジースポーツ領域のNo.1を目指し、事業を飛躍させていきます。

クラブDX事業 ~ デジタルによるプロスポーツクラブ運営の進化 ~

クラブ運営における経営管理から事業施策まで、当社が培ったDX技能を注入することで収益力向上をはかるクラブDX事業として、琉球フットボールクラブ株式会社（FC琉球）との取組みと株式会社滋賀レイクスターズ（滋賀レイクスターズ）への経営参画を行いました。

FC琉球とは2021年1月にユニフォーム胸スポンサーに就任するとともに、トップパートナー契約を締結し、物販やファンクラブ運営事業を受託しました。コロナ禍でスタジアムなどでの現地物販が動かない中で、EC販売に注力しEC売上を前年比5倍まで伸ばしました。こうした成果はデータドリブンでお客様のデータに基づきクラスタ分けを行い、クラスタごとの指向・ニーズに合わせた商品を展開しつつ、TwitterなどSNSでコアサポーターの方に働きかけるなど、デジタルの施策で実現したものです。

2021年9月には、プロバスケットボールクラブの滋賀レイクスターズの株式75%を取得し、経営参画しクラブDX事業の競技軸での横展開を開始しました。滋賀レイクスターズについては、経営管理から事業施策まで幅広く事業成長に取り組み、収益基盤を確立していきます。具体的にはチケットングや物販といったB2C分野ではIDによる顧客情報一元管理によるCRM枠組みを導入し、また法人向けスポンサー営業では体制を整備した上でファン管理を導入し、デジタルの力による営業改善を進行しています。

滋賀レイクスターズの事業成長構造を確固たるものとすると同時に新B1リーグへの参画に必要な来場者数や売上の達成を目指していきます。

クラブDX事業とサステナビリティ

クラブDX事業はサステナビリティを体現した事業です。スポーツは、国連の持続可能な開発のための2030年アジェンダの中で、SDGsに直接的に寄与するものとされています。またスポーツは資源の大量消費を一切しない一方で、人をワクワクさせ、楽しく生きていく力を供給しています。

当社はFC琉球や滋賀レイクスターズのクラブDX事業を通じて人が心豊かに生きていくことのできるサステナブルなコミュニティの実現に貢献していきます。



現実連動型ゲーム 「プロ野球#LIVE2021」 をリリース

2021年6月、日本プロ野球機構（NPB）からライセンスを取得し、ファンタジースポーツ分野で、現実連動型ゲーム「プロ野球#LIVE2021」のβ版をリリース。プロスポーツの新たな楽しみ方として、また日本向けにアレンジしたサービスデザインとして提案。可処分時間の細分化に対応し、隙間時間消費に適したコンテンツ接点を提供し、プロスポーツ産業全体の成長に貢献しています。

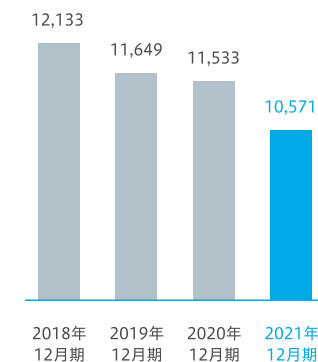


滋賀レイクスターズ に経営参画

2021年9月、プロバスケットボールクラブの株式会社滋賀レイクスターズの株式75%を取得し、経営参画。FC琉球において主にB2C分野で進めてきたクラブDXの取組みを、さらにB2B事業や興行運営、経営管理などクラブ経営全般に広げて推進していきます。オンラインコミュニティ運営のノウハウをクラブ運営といったリアル領域にも活かし、スポーツとその周辺に集まる人々や地域を熱狂の渦に巻き込んで、スポーツの価値向上と産業全体の成長に貢献していきます。

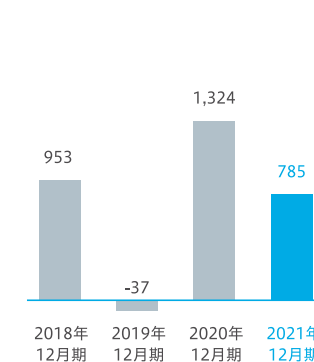
売上高(百万円)

10,571 百万円



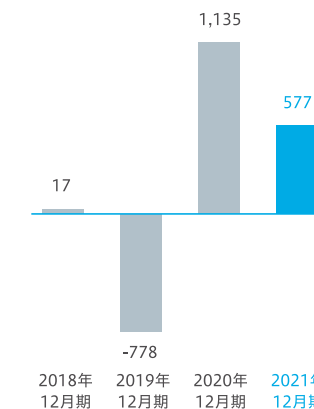
EBITDA(百万円)

785 百万円



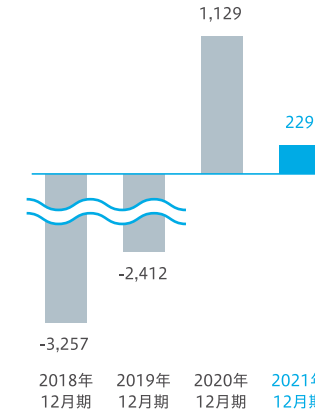
営業利益(百万円)

577 百万円



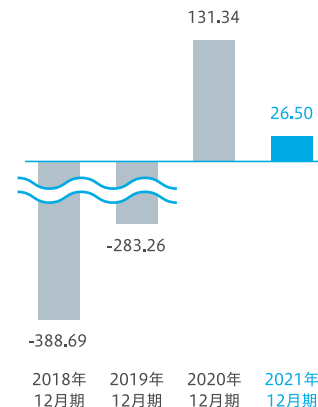
親会社株主に帰属する
当期純利益(百万円)

229 百万円



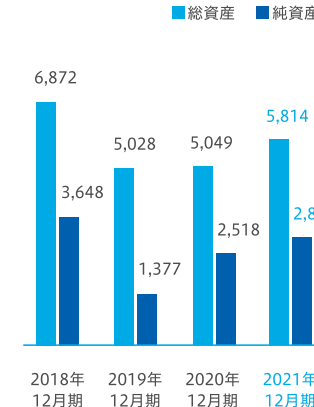
EPS(円)

26.50 円



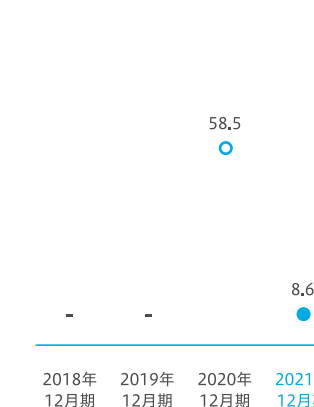
総資産/純資産(百万円)

5,814 / 2,817 百万円



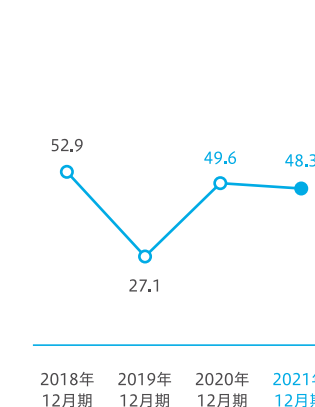
ROE(%)

8.6%



自己資本比率(%)

48.3%



※2018年1月1日を効力発生日として、株式1株につき2株の分割を行っています。

Corporate Data

会社データ

■ 会社概要 (2021年12月31日現在)

商号	株式会社マイネット
証券コード	3928
本社所在地	東京都港区北青山二丁目11番3号A-PLACE青山
創業	2006年7月1日
資本金	4,648万円 (連結)
従業員	387名 (連結 間接雇用除く)

■ 役員 (2022年3月29日現在)

代表取締役社長	上原 仁
取締役	岩城 農
取締役	松本 啓志
取締役 (社外)	太田 雄貴
監査等委員 (社外)	和田 洋一
監査等委員 (社外)	中山 和人
監査等委員 (社外)	保田 隆明

■ 株式の状況 (2021年12月31日現在)

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	8,698,760株
株主数	5,546名

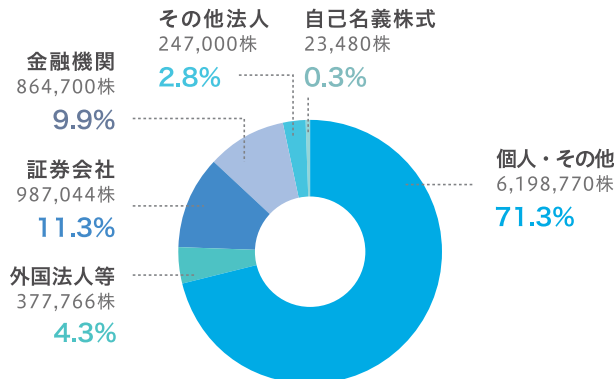
■ 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後3ヶ月以内
定時株主総会基準日	12月31日
期末配当金受領株主確定日	12月31日
単元株式数	100株

当社の公告方法は、電子公告としています。ただし事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載します。当社の公告掲載URLは次のとおりです。
<https://mynet.co.jp>

上場証券取引所	東京証券取引所第一部
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

■ 所有者別状況 (2021年12月31日現在)



■ 大株主 (2021年12月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
上原 仁	1,769,202	20.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	739,900	8.5
楽天証券株式会社	507,000	5.8
株式会社SBI証券	259,068	2.9
株式会社セガ	219,800	2.5
笠原 健治	208,000	2.3
西村 裕二	153,600	1.7
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	98,400	1.1
MORGAN STANLEY & CO. LLC	74,200	0.8
三田 由美	70,500	0.8

コーポレートサイトの「IR 投資家情報」では、決算短信や決算説明会の資料の掲載をはじめ、経営方針やビジネスモデル、各種お知らせなどを幅広く発信しています。業績や財務情報などについての詳細はwebサイトをご参照ください。
<https://mynet.co.jp/ir/>